

## 2024年取組一覧(欧州)

|        |                                                                               |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------|
| アイスランド | 2025年大阪・関西万博レセプション                                                            |
| 英国     | グレーター・マンチェスター代表団の訪日支援                                                         |
| 英国     | Business and Investment Opportunities through Expo 2025, Osaka, Kansai, Japan |
| エストニア  | 原子力発電セミナー                                                                     |
| エストニア  | DNA証明書付蜂蜜の日本への出荷                                                              |
| ドイツ    | 日・ウクライナ官民ラウンドテーブル                                                             |

## 【その他】

# 2025年大阪・関西万博レセプション(アイスランド)

開催日： 令和6年6月12日

場 所： 在アイスランド大使公邸

共催：在アイスランド大使館及びビジネス・アイスランド

協力／参加企業・自治体：日・アイスランド商工会議所メンバー、Iceland Ocean Cluster、  
i-Farm、Toyota Iceland等

在アイスランド大使館

### 【概要】

- 2025年大阪・関西万博のPRレセプションを、大使公邸において開催。
- 大阪・関西万博を契機とした日本とアイスランド間のビジネス連携や対日投資の促進、人的ネットワークを広げる機会となった。
- 冒頭鈴木大使より、北欧各国が参加した1970年の大阪万博、2005年の愛知万博を振り返り、2025年の万博も日本とアイスランドを含む北欧各国との関係が強化されることを期待する旨述べた。また、挨拶の中で、動画を用いて、今回の万博の概要を説明した。
- 続いてアイスランド陳列区域政府代表、ソルヴァルザルソン氏から、北欧共同館のコンセプトや準備状況の説明があり、レセプション出席企業への万博参加が呼びかけられた。
- 懇談の場においては、日本酒などとともに公邸料理人による和食が提供され、たこ焼きや串カツといった大阪名物も紹介した。
- また、日本企業支援の一環として、当地で日本のいちごの生産を行っているiFarm社による試食会も開かれた。



## 【ミッション派遣等】 グレーター・マンチェスター代表団の訪日支援(英国)

在英国日本大使館

開催日: 令和5年11月20日、12月4日～8日、令和6年2月13日

場 所: グレーター・マンチェスター市庁舎、エティハド・スタジアム内施設、マンチェスター市内レストラン等

主催・共催: 大使館、グレーター・マンチェスター合同行政機構(GMCA)

協力/参加企業: ダイキン、パナソニック、日立、三菱重工業、ミツカン、JETRO等

### 【概要】

- 2023年10月、GMCAは日本との経済関係を強化することを主目的に、バーナム市長率いる代表団を同年12月上旬に大阪・東京に派遣することを発表。本件は、当館が任命しているアーメド在マンチェスター名誉領事がGMCAのジャパン・ステアリング・グループの議長として長期間に渡って関係者と信頼関係を構築し、同名誉領事と当館との間で緊密に連携して、林大使とバーナム市長との面談をはじめ、当館からも適切な支援を切れ目なく行ってきた成果。
- 2023年11月にマンチェスター市内において代表団と関係日本企業を集めた訪日前壮行会を開催。当館よりロンドン所在の日本企業、ジェトロ関係者等に幅広く声掛けを行い、多数の出席を促すと共に、当館公使よりGMCAの訪日を歓迎する旨の挨拶を行った。GMCA側からバーナム市長、クレイグ市議会議長など訪日代表団の中核メンバーが出席し、日本企業関係者との広範囲な意見交換が実現した。
- 2023年12月4日～8日にかけてGMCA代表団が大阪・東京を訪問。バーナム市長と横山大阪市長との面談では新たな協力覚書が署名され、吉村大阪府知事、小池東京都知事との面談も実現。一行はダイキン、パナソニック、日立、三菱重工業、ミツカン等を訪問し、各社がGMCAでプレゼンスを拡大することに向けた具体的な議論が行われ、覚書が署名された。当館からは林大使のビデオメッセージの送付、大阪市・府、東京都関係者への事前連絡、日本企業の紹介等の支援を行い、GMCA側から大きな成果につながったことに対する謝意があった(英国内では「市長が率いた2023年における最も顕著な海外活動の一つ」との評価がなされている)。
- 2024年2月、GMCA代表団の訪日のフォローアップとして林大使がマンチェスターを訪問し、バーナム市長と会談。当館の支援に対して改めて謝意表明があった。林大使は訪日代表団と日本企業関係者を集めた夕食会をマンチェスター市内で開催し、2025年大阪・関西万博に向けて両者が更に協力を進めることを確認した。



## 【人脈形成・情報収集】

# 「2025年大阪・関西万博開幕まであと1年」記念レセプション (Business and Investment Opportunities through Expo 2025, Osaka, Kansai, Japan) (英国)

開催日： 令和6年4月16日

場 所： 在英国日本国大使館内大会議室・ボールルーム

共 催： 英国経営者協会 (IoD)

協 力： 大阪府・大阪市・JETRO・JAEA・サントリー・ヤクルト・SAYURI・ES Global・  
Vertical Aerospace

在英国日本国大使館

### 【概要】

- 2025年大阪・関西万博開幕まで1年を記念して、英国における万博への理解を促進し、万博に向けた機運を醸成することを目的に、記念レセプション「Business and Investment Opportunities through Expo 2025, Osaka, Kansai, Japan」を開催。
- 第1部では、クラーク対日貿易特使、英国政府及びパビリオン建設企業より関連の取組や連携の状況について説明するとともに、万博期間中の訪日デリゲーションの企画について説明 (IoD会員を中心に約90名が出席)。
- 第2部では、オフォード卿・英国輸出担当閣外大臣 (万博担当) の出席、自見はなこ国際博覧会担当大臣、吉村洋文大阪知事からのビデオメッセージを得て、関係者でネットワーキングを実施 (第1部の出席者と合わせて、英国政府、地方自治体、日英企業関係者等合計約190名が出席)。

### 【結果・評価】

- 会場では、初渡英した公式キャラクターの「ミャクミャク」との交流が行われた他、英国パビリオンの紹介、空飛ぶクルマのモデル展示、関連動画配信及び日本国内TV放映がなされ、万博への関心・理解を深める良い機会となった。
- 日英双方の政府・地方自治体関係者・日英ビジネスに関心のある企業、商社・金融機関・ビジネス団体等の関係者が一堂に会し、万博を契機とした日英間のビジネス連携・対日投資の促進、人的ネットワークを広げる絶好の機会となった。



## 【その他】

### 原子力発電セミナー（エストニア）

在エストニア大使館

開催日： 令和6年8月22日

場 所： エストニア気候省

主催（共催）：一般財団法人原子力国際協力センター（JICC）

協力／参加企業・自治体：経済産業省、気候省、フェルミ・エネルギー社、  
在エストニア大使館、東京大学、日本原子力研究開発機構、  
日立GEニュークリア・エナジー



カダスティク議員の挨拶



松村大使の挨拶



関係者の記念撮影

#### 【概要】

エストニアにおける原子力発電の導入に向けた準備を支援するため、JICCにより同国の関係者向けに開催された「原子力発電セミナー」において、在エストニア大使が挨拶を行った。

行事の前半は、カダスティク議員（議会の原子力支援グループ議長）による挨拶や、本使による挨拶が行われたほか、日本の原子力政策や、エストニアの検討状況、原子力の安全性について、それぞれ紹介・講演が行われた。

行事の後半は、保証措置（セーフガード）と、運用面・技術面での沸騰水型炉の建設について、日本の有識者から説明が行われたほか、新規参入国において高水準の安全性と円滑な認可をどのように保証するかに関し、両国の専門家の間でパネル・ディスカッションが行われた。

#### 【結果・評価】

今回のセミナーは前年に続く3回目で、2022年以降、毎回、在エストニア大使館から参加してきた。大使が継続して参加の上、挨拶を行うことで、当該セミナーへの日本側の意気込みをより示すことができたほか、原子力に対する日本の知見を同国に提供することで、エストニアの政府等関係者の原子力への理解を深めるよい機会となった。

## 【その他】

### DNA証明書付蜂蜜の日本への出荷（エストニア）

開催日：令和6年9月5日

場 所：地域農務省

主催(共催)：ノルドメル社

参加企業等：地域農務省、在エストニア大使館、セルヴィアCC(旧健康技術開発センター)、  
エストニア・ビジネス・イノベーション庁(EAS)

在エストニア大使館

#### 【概要】

9月5日午前、ノルドメル社が世界で初めてDNA証明書付の蜂蜜を日本に出荷したのを記念して、同日午後、地域農務省で報道記者を招いた行事が開催された。

ハルトマン地域農務大臣の挨拶に続き、本使の挨拶、ノルドメル社代表の説明、セルヴィアCC科学者(蜂蜜のDNA検査・試験を開発)の説明、EASアジア地域責任者の挨拶が行われた。最後に、意見交換と記念撮影が行われた。

DNA証明書は、蜂蜜の真正性を保証し、養蜂家と消費者を保護することとなるほか、紛い物が市場から駆逐され、市場の正常化するのに寄与することとなる。

#### 【結果・評価】

記者を招いた本行事に、在エストニア大使が出席し祝辞を述べることで、両国間のビジネス関係の発展や日本の広報につながったほか、日本における蜂蜜の取引・貿易の状況を紹介することで、日本の状況への理解をエストニア側に深めてもらうよい機会となった。



ノルドメル社代表による説明の様子



関係者の記念撮影

## 【その他】

# 日・ウクライナ官民ラウンドテーブル(ドイツ)

在ドイツ大使館

開催日: 令和6年6月10日

場所: 在ドイツ日本大使館 多目的ホール

主催: 経済産業省、JETRO、在ドイツ日本大使館

協力/参加企業: 23件の協力文書関係企業等  
(協力文書一覧)

<https://www.meti.go.jp/press/2024/06/>

20240612001/20240612001-b.pdf



岸田総理によるビデオメッセージ



シュミハリ・ウクライナ首相によるビデオメッセージ

## 【概要】

- 2024年2月に日本で開催された「日・ウクライナ経済復興推進会議」の成果の一つとして、在ドイツ日本大使館多目的ホールにて、経済産業省・JETRO・当館の主催の下、「日・ウクライナ官民ラウンドテーブル」を実施し、農業やインフラ、エネルギー、ものづくり等、ウクライナ復興に向けた新たな23件の協力文書の披露式を行った。
- ラウンドテーブル冒頭には、岸田総理とウクライナのシュミハリ首相からビデオメッセージが寄せられ、日本政府からは岩田経産副大臣、武村農水副大臣、深澤外務政務、ウクライナ政府からはスヴィリデンコ第一副首相兼経済相、シュルマ大統領副長官がラウンドテーブルに参加し、挨拶が行われた。
- 両国政府機関・企業の関係者を多く集め、両政府要人が立ち会う中で協力文書が披露されたことで、日・ウクライナの協力関係をアピールすることに成功した。
- 披露式後、両国政府機関・企業によるプレゼンテーションが行われ、活発な意見交換がなされた。



左から、シュルマ大統領府副長官、スヴィリデンコ第一副首相兼経済相、岩田副大臣、武村副大臣、深澤政務官



企業によるプレゼンテーションの様子